

## 8・30の10万人国会行動と全国100万人大行動の創出で、安倍政権をさらに追いつめ、戦争法案を廃案にするたたかいを

戦争させない、9条壊すな！総がかり行動実行委員会

### <はじめに>

7月15～16日の衆議院での戦争法案の強行採決を経ても、全国のひとつの怒りと運動は衰えを知らず、戦争法案廃案をめざす運動と安倍内閣の退陣を求める声は、猛暑の夏をもものともせず、全国の各界各層のひとのなかで広がり、高まっている。その多様性、重層性、創造性はかつて見られなかった広がりを見せている。国会内の野党各党と連携して展開されているこの戦争法案廃案運動の拡大は安倍政権と与党を追いつめ、参議院での議論が始まったばかりであるにもかかわらず、すでに国会の論戦ではボロボロの状態になっている。そして私たちはこうした情勢の中で、この戦争法案を廃案にできる可能性を手に入れつつある。

### <運動の出発と経過>

私たちは広範な世論の高まりによって、2007年、9条改憲を公言した第1次安倍政権を崩壊させた経験があり、2013年、第2次安倍政権が企てた96条改憲論を破綻させた経験があり、さらに直近では国立競技場建設構想を白紙撤回させた実績がある。

しかし安倍自公政権は、衆議院に3分の2を超える議席数を持ち、戦争法案廃案への闘いの道のは決して容易なものではないが、「平和憲法の破壊、立憲主義を無視して集团的自衛権の憲法解釈の変更」という動きに、さまざまな運動体が行動を始めた。

2014年前半に、「戦争をさせない1000人委員会」が発足し、「解釈で憲法9条を壊すな！実行委員会」が立ち上がり、「戦争する国づくりストップ！憲法を守り、いかす共同センター」が再編発足した。これら3つのネットワークは、出自や経過から来る立場の違いを乗り越え、さまざまな運動の現場での共闘からはじまって、次第に連携を強め、2014年末には「戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会」を結成した。安倍政権による「平和と民主主義の破壊」、「戦争の足音の高まりへの恐れ」を目の当たりにした3団体は、「平和と民主主義の実現」の責任の一端を担わなければならないという決意に突き動かされ、画期的な共同を実現させた。

この運動は、2015年にはいり5月3日の憲法記念日集会の成功を踏まえて、前述の3団体に加えて、5・3集会の実行委員会に参加した反原発関連の3団体や、反貧困運動、女性の運動、国際連帯運動などなどさまざまな分野の市民運動のネットワークがそれぞれの課題の違いを超えて、「総がかり行動実行委員会」に結集することになった。

### <この間の私たちの主なとり組み>

この「総がかり行動実行委員会」は、毎週木曜日の国会行動などをはじめ、数万の規模による6・14、6・24、7・14、15、16、17、7・26、7・28など戦争法案に反対する連続的な国会行動や国会前座り込み、新聞意見広告の取り組み、各所での街頭宣伝など、従来の枠を超えた大きな活動を展開した。一方、野党各党への要請・懇談や議員へのロビーイングなど、野党の国会議員への働きかけも積極的に行い、連携を強化した。

いま戦争法案廃案・安倍政権退陣をめざす運動は全国で大きく高揚している。そして戦争法案反対、

今国会での強行反対の声はどの世論調査でも急速に拡大し、安倍政権の支持率は急落している。

私たちは、このねばり強い運動が「戦争法案廃案」めざす各界各層の人びとの決起と、全国各地の草の根での運動の高揚に貢献したと自負している。私たちがくり返し提唱してきた、思想信条や政治的立場の違いを超えた「戦争法案反対」の大きな共同行動の実現と、そうした取り組みの中でこそ勝利の展望が描けるという確信が、事態を大きく切り開いてきたと言っても過言ではない。

### <共同行動のいっそうの拡大を>

窮地に追い込まれた安倍政権は国会会期を大幅に延長し、かつ衆議院での強行採決に踏み切った。そして焦点は、参議院段階へと移り、安倍自公政権が、参議院で強行採決することを許さず、衆議院での再議決をさせないたたかいこそ、焦眉の課題となっている。

衆議院段階でのかつてなかった層や市民による新しい運動の広がりをさらに期待すると同時に、連携しての共同行動を作り上げる努力が求められている。

また一方、原発再稼働阻止・脱原発運動、沖縄の辺野古新基地建設反対運動、貧困と差別を許さない運動、アジアの人びととの連帯と共生運動などもそれぞれ情勢は緊迫している。そして闘いは大きく高揚している。それぞれの課題とも、安倍政権の暴走の結果であり、安倍内閣退陣をめざして、大きな闘いの連携の枠組みをつくる必要性と可能性も大きく拡大している。

私たちは、全国各地で始まっている草の根での共同行動の展開をさらに押し広げ、立ち上がりつつある各界各層のひとびとの運動とさらに連携を強め、また安倍政権の暴走の下で苦しむ広範な民衆の運動と連携して、安倍政権を包囲し退陣に追い込む世論の一翼を担うことが私たちの役割であり、使命である。

### <安倍政権の暴走をとめ、退陣を実現しよう>

安倍政権はこの夏、参議院での強行採決を念頭におきつつ、運動が後退することに淡い期待をいただき、自らの延命に期待している。そうであるなら、私たちの回答は明確だ。全力をふり絞って、この歴史的な闘いを担いきり、運動の一層の発展を実現し、戦争法案廃案・安倍政権退陣を勝ち取ろう。

私たちは、毎週火曜日の統一街頭宣伝行動、木曜国会前集会などの地道な活動の積み上げ、提起される共同した取り組みを全力をあげて闘いぬこう。そして8月30日、「戦争法案廃案！安倍政権退陣！8・30国会10万人、全国100万人大行動」を必ず実現・成功させ、いのちと民衆の怒りをないがしろにし、立憲主義を無視し、憲法9条と民主主義を破壊し、戦争への道をひた走る安倍政権に決定的な打撃を加えよう。

いまこそたちがあがろう、手をつなごう。今日と未来のため、すべての力を戦争法案廃案と安倍政権の退陣のために集中しよう！

2015年7月31日